

令和3(2021)年度  
事業計画書

(令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日)

公益財団法人日光社寺文化財保存会

## 令和3(2021)年度 事業計画書 目 次

I	基本方針	1
II	文化財建造物保存修理事業	1
	1. 事業費	
	2. 事業内容	
	3. 報告書作成	
III	文化財建造物等の防災施設・設備等整備事業	4
	1. 国宝・重要文化財防災施設整備事業	
	2. 防災設備等維持事業	
IV	文化財建造物修理に係る技術等に関する資料収集、調査研究事業	6
	1. 湿度制御温風処理システムの研究・開発	
	2. 彩色関係調査研究	
V	文化財建造物の修理技術者養成研修事業	7
	1. 漆塗・彩色技能者養成研修事業	
VI	文化財建造物の保存等に資する普及啓発事業	8
	1. 修理現場の視察・研修の受入れ	
	2. 関係団体主催行事等への参加	
VII	その他この法人の目的を達成するために必要な事業	8
	1. 保存会建物建替事業	
	2. 「平成の大修理」工事記録の制作	

## 令和3(2021)年度 事業計画

(事業期間 令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日)

### I 基本方針

当保存会は、明治12年に設立された「保晃会」を前身に、社会情勢や文化財にかかる制度の変化に応じ、組織の改編や名称の変更等を行いながら二社一寺の国宝、重要文化財等の建造物（文化財建造物）の修理を連綿と続けてきた。その先人たちが残してくれたかけがえのないものを、確実に次代に引き継ぐ役割を担っていることの強い自覚と誇りをもって、文化財の文化的価値の維持に努め、国民の文化的向上に寄与するため、次の事業活動を展開する。

なお、前年度から新たな修理周期となるが、これまでと同様な事業費が確保できなくなることから、積極的に経費の縮減に努めるものとする。

- (1) 文化財建造物の修理事業の着実な推進
- (2) 文化財建造物及びその周辺の防災施設・設備等の適切な維持管理
- (3) 修理工事現場等における安全衛生管理体制の構築及び運用
- (4) 計画的な後継者養成
- (5) 積極的な周知活動

### II 文化財建造物保存修理事業（国庫補助事業等）

「文化財保存事業費関係補助金交付要綱」・「同国庫補助実施要領」・「重要文化財(建造物・美術工芸)修理、防災事業費国庫補助要項」に基づき、以下の事業を国庫補助を受けて実施する。

#### 1. 事業費

(単位：千円)

事業主体 \ 項目	工事経費	耐震対策費	設計監理料	合計
二荒山神社	24,849	37,763	14,388	77,000
東照宮	196,812	26,264	60,924	284,000
輪王寺	159,981	12,432	58,587	231,000
合計	381,642	76,459	133,899	592,000

※各金額は、千円未満を四捨五入している。

## 2. 事業概要

	対 象 物 件	内 容
二 荒 山 神 社	神輿舎	修理工事 仮設工事：素屋根建設、同存置・損料、同維持管理、電気設備、 自火報設備、消火器他備品設置 解体工事：屋根、縁廻り、銅板葺屋根 漆塗工事：葺戸一部塗直し 建具工事：木連格子戸腰付(舞良戸)1枚補修 金具工事：銙金具取外し、同再生全施工 建具工事：葺戸4枚、板唐戸2枚、板引戸1枚繕い補修 雑工事：既設自火報設備撤去
	神輿舎・中宮祠拝殿	委託業務 ・耐震基礎診断で用いる地盤データ採取のため、本社境内及び中 宮祠境内での地質ボーリング調査 ・神輿舎における耐震基礎診断
東 照 宮	東西透塀	仮設工事：素屋根存置損料、同点検・維持管理 彩色工事：花狭間10間、長押33間、欄間彫刻1体、各改め 金具工事：金具取外し、鍍金10.95㎡・同墨差6.64㎡再生 直営漆塗：北面西半花狭間内外各10間、西面内潜門以北黒漆部 10間、各塗直し 直営彩色：北面西半花狭間内外各10間、北面西半内外各10間・ 北面東半外10間・西面南半外13間の各唐油 長押、北面西半欄間及び蹴込彫刻15体、西面北半欄 間彫刻4体、各改め
	背面唐門	金具工事：漆箔押・燻し・煮黒目の全量再生及び欠失分の新規作 製補足、全金具取付け直し 直営彩色：組物・方立・楣・頭貫・棧唐戸花狭間の彩色箇所全所 改め
	下神庫	仮設工事：素屋根建設・存置損料、同点検・維持管理、資材運搬 搬入、電気設備、自火報設備、消火器設置、工事案内 看板作製・掲示 木 工 事：破損状況の点検・調査、不具合部の繕い補修 漆塗工事：東面軒廻り及び拳鼻・同裏肘木延べ73.5㎡の朱真搦 合塗直し 雑 工 事：公衆トイレへの迂回代替仮設通路構築

	鐘舎	<p>仮設工事：素屋根存置・損料、同点検・維持管理</p> <p>木 工 事：補足木材購入、在来材繕い・取替材加工・組立、屋根銅板葺直し、釣鐘吊り揚げ復旧</p> <p>漆塗工事：屋根銅板面（次年度施工予定）を除く、建屋全面 17.6 m<sup>2</sup>の黒漆塗直し</p>
	非常門	<p>仮設工事：素屋根存置損料、同点検・維持管理、同解体撤去</p> <p>漆塗工事：屋根銅板葺面を含め、全面延べ 54.6 m<sup>2</sup>の朱並びに黒漆塗直し</p> <p>金具工事：漆箔金具の現場箔押と墨差延べ 3.63 m<sup>2</sup>及び鉄製金物類の黒色（漆）塗 0.16 m<sup>2</sup>の各再生</p> <p>雑 工 事：自動火災報知設備の整備、修理銘札作製・取付け</p>
	共通仮設	<p>作業員休憩所存置損料、光熱水費</p>
		<p>耐震基礎診断委託業務</p> <p>対象8棟の地質・地盤調査データを基に、各棟の耐震性能を解析して耐震診断を行ない、構造補強などの措置が必要な場合には耐震性能向上の提案を含めて報告書に纏める</p>
輪 王 寺	慈眼堂拝殿	<p>仮設工事：各種仮設の点検維持費・光熱水費</p> <p>解体工事：小屋組・縁・軒・床組</p> <p>屋根工事：各種銅製瓦の亀裂・穴の繕い補修（鑑付）</p> <p>建具工事：木連格子戸腰付（舞良戸）1枚補修</p> <p>金具工事：鍍金・墨差・煮黒目・焼漆</p> <p>塗装工事：漆代価No.31・解体済み床板材塗装（29.3 m<sup>2</sup>）</p> <p>直営塗装：内部剥落止彩色の経過観察・維持（消毒・異常箇所の剥落止）</p>
	護法天堂	<p>仮設工事：各種仮設の点検維持費・光熱水費</p> <p>解体工事：東側附属部・後補の間仕切・天井・床板・根太・小屋・軒・向拝</p> <p>金具工事：鍍金・煮黒目・焼漆</p>
	相輪櫓	<p>仮設工事：点検維持費・素屋根撤去</p> <p>石 工 事：玉垣不陸調整・同折損部擬石（モルタル＋石粉）仕上・正面石扉の建付調整（同金具含む）</p> <p>木 工 事：心柱（木製）・控え柱（木製）継木補修</p> <p>金具工事：旗（青銅製）・附属の鈴欠損部補足・青銅部の孔亀裂の溶接補修。</p> <p>塗装工事：全面に黒漆塗装・部分的に漆箔押（金箔）</p>

	銅燈籠（右）	仮設工事：作業足場仮設・撤去 金具工事：欠失風鐸の製作・青銅部の孔埋補修・青銅部の亀裂補修
	銅燈籠（左）	仮設工事：作業足場仮設・撤去 金具工事：欠失風鐸の製作・青銅部の孔埋補修・青銅部の亀裂補修

### 3. 報告書作成

工事竣工に伴う工事報告書を作成する。

(単位：千円)

事業主体	項目	対象建造物等	作成費
二荒山神社		本殿、滝尾神社、本宮神社本殿・拝殿	4,000
東照宮		陽明門、本殿・石の間・拝殿	6,105
輪王寺		大猷院二天門、三仏堂	9,075
計			19,180

## Ⅲ 文化財建造物及びその周辺の防災施設等整備事業（補助事業及び自主事業）

### 1. 国宝・重要文化財等防災施設整備事業

ノートルダム大聖堂(H31.4)や首里城正殿(R1.10)の焼失を受けて制度化された国庫補助事業を活用し、消火設備等の改修や防犯カメラ等の設置を行う。

(1) 事業費（補助率：国 65%）

(単位：千円)

事業主体	項目	工事経費	設計監理料	合計
二荒山神社		1,661	339	2,000
東照宮		1,661	339	2,000
輪王寺		88,440	18,560	107,000
合計		91,762	19,238	111,000

※設計監理料は21%を計上

※金額は、千円未満を四捨五入

### (2) 事業概要

対象物件	内容
二荒山神社 本殿ほか22棟	(令和元年度～4年度) 消火設備：凍結防止排水弁の改善補修 境内2か所 その他設備：感震機能付きブレーカー設置整備

東照宮	本殿、石の間及び拝殿ほか 39 棟	(令和 2 年度～3 年度) 消火設備：凍結防止排水弁の改善補修 境内 2 か所 その他設備：感震機能付きブレーカー設置整備
輪王寺	本堂(三仏堂)ほか 37 棟	(令和元年度～4 年度) 防犯カメラ設備：監視カメラ設備の新規設置整備

## 2. 防災設備維持事業

次の防災設備維持事業を委託及び直轄により実施する。

### (1) 指定文化財管理事業（防災保守点検）（国・県費補助事業）

自動火災報知設備、消火設備（放水銃・消火栓・電動ポンプ・ドレンチャー等）の法定点検、避雷設備及び電源引き込み設備（キュービクル）の点検等を専門業者委託により行う。

事業費（委託料補助率：国 24%・県 24%）

（単位：千円）

経費所有者	委託料	業務管理費	合計	備考
二荒山神社	1,232	147	1,379	業務管理費は委託料の12%を計上
東照宮	2,343	281	2,624	
輪王寺	2,244	269	2,513	
合計	5,819	697	6,516	

※各金額は、千円未満を切上げ

### (2) 防災設備の維持（自主事業）

ア) 自動火災報知設備及び消火設備等の異常時又は故障時には、直ちに所有者と協議し、速やかにその対応措置を行う。この場合、直轄で対応しがたいときは、専門業者等の協力を得て行うものとする。

イ) 導水路（側溝水路）、貯水槽等の水量及び水位の調整を行う。

ア)・イ)に関しては、各所有者において予算化措置（50万）

### (3) 共通消火設備 ホース取替え（自主事業）

市内の各所道路脇に設置している消火栓設備において、殆どの消防ホースが設置より 15 年経過した。消防法により製造後 10 年を経過したものは、新品交換又は 3 年毎の耐圧試験の実施が定められており、さらに、日光消防署における立入り火災予防査察においても、ホースの交換を指摘され、改善が必要となっていることから、既設ホースを処分し、全数交換を実施する。

交換箇所：23 箇所 ホース種類：50A×20m 員数：90 本

事業費：225 万円（二荒山神社負担：75 万、東照宮負担：75 万円、輪王寺負担：75 万円）

(4) 本地堂(薬師堂) 電気設備改修（自主事業）

上新道より埋設配線されている電源ケーブルが老朽化によって絶縁不良となっているため、ケーブルの引替えを行う。また、建物内配線も経年劣化が著しいことから、配線・コンセント・照明等の取替えを行う。（平成 28 年度計画、延期中）

事業費：600 万円（東照宮負担：300 万円、輪王寺負担 300 万円）

#### IV 文化財建造物修理に係る技術等に関する資料収集、調査研究等事業

1. 湿度制御温風処理システムの研究・開発

中禅寺愛染堂・同鐘楼の湿度制御温風処理を経て、3 番目の事例として、二荒山神社神楽殿の実施に向けて、研究開発中。

兵庫県尼崎市にある関西電力敷地内に試験設備を建設、温風・冷風・加湿の 3 つを同時に制御し、規定の温度と湿度に制御するプログラムを改良中。オペレーターの養成も開始。

神楽殿の施工は当初、令和 3 年(2021)秋を目標としていましたが、コロナにより計画変更、令和 4 年(2022)年夏に目標修正。神楽殿の実施経費は関西電力負担、保存会事務所は湿度制御温風処理機器を提供する。現在は神楽殿の季節変動による木材歪み・木材内部湿度・環境温度・湿度をモニタリング中。

2. 彩色関係調査研究（自主事業）

(1) 置上・下塗用胡粉の代替胡粉に係る研究

① 事業内容

二社一寺の建造物彩色では置上及び下塗に粒子の粗い胡粉（七ツ判胡粉、本代胡粉など）を使用してきたが、近年製造所が廃業した。この胡粉は置上及び漆下地に対する彩色の下塗に適していた。現在、当会の在庫は約 50 kg ある。年間使用量は約 10 kg であるため、あるうちに、代替え胡粉を確保しなければならず、その選択にあたっての調査研究を令和 2 年度から 3 ヶ年計画で行い決定する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で令和 2 年度は着手できなかったため、計画を次年度にずらして実施する。

② 事業費（税込み）

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	合計
金 額	中止	300 千円	200 千円	100 千円	600 千円

③ 事業計画

令和2年度	中止（コロナ禍による）
令和3年度	本代胡粉及び代替え候補の基本物性の把握（聞き取り、粒度分布、原材料同定、資料収集、製造所の特定、付着力、促進劣化試験）
令和4年度	前年度に選択した代替え候補を使用して彩色手板を作製し彩色層とした場合の付着力、促進劣化、屋外暴露の試験を行い、候補品製造所の視察を行う。
令和5年度	前年度までに選択した代替え候補の再試験を行い成果の資料化を行う。

V 文化財建造物の修理技術者養成研修事業

1. 漆塗・彩色技能者養成研修事業（国庫補助事業）

選定保存技術に認定されている建造物彩色及び建造物漆塗について、保持団体としてそれらの技能者養成研修を次の要領で実施する。

研修 項目	彩色技能者養成研修	漆塗技能者養成研修
目的	建造物彩色技術を伝承させるための技能者を養成する。	日本産漆の特徴と塗装技術を熟知する。
研修内容	技能者養成研修 実技：彫刻彩色 講義：建造物彩色及び技法・材料 見学：講義に関連した建造物見学 講師養成研修 講義：建造物彩色修理事例、彩色技法・材料、法規等 見学：建造物修理現場、材料製造所	中級研修・実務経験6年以上の社美協会員を中心に新模型を使い、日本産漆の塗装技術を体得する。 講師養成研修・保存会職員を中心に日本産漆を掻き取る実習と精製工場見学し、漆の特徴を会得する。
研修対象者・人数	技能者養成研修：8名 （実務経験が10年未満） 講師養成研修：5名 （保存会職員が主対象）	社美協会員6名 保存会職員4名
研修期間	技能者養成研修 延12日間 講師養成研修 延4日間	中級研修 延12日間 講師養成研修 延5日間
事業費	5,697千円	6,415千円
	12,112千円	

## VI 文化財建造物の保存等に資する普及啓発事業

### 1. 修理現場の視察・研修の受入れ（自主事業）

行政機関や公共機関主催による講座や、文化財関係団体等による修理現場の視察・研修依頼については、保存会の業務に支障のない範囲で受入れをし、文化財建造物保存修理の重要性を学習してもらう。

### 2. 関係団体主催行事等への参加

#### (1) 日本の技体験フェアへの参加（協賛事業）

文化庁より選定保存技術に選定されている保存会の建造物漆塗・彩色技術の特殊性、必要性などを紹介するために、文化庁主催の日本の技体験フェア「ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技」に積極的に参加する。

#### (2) 日本うるし掻き技術保存会が行うイベントへの協力

令和2年度に開催予定であった「日光二社一寺と浄法寺漆」をテーマとした漆塗り体験や漆掻き見学などのイベントに対し会場提供や人材派遣等の協力を行う。

## VII その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 保存会建物建替事業（自主事業）

#### (1) 経緯

平成20年7月に策定した施設整備計画に基づき、「漆塗・彩色作業棟」、「木工作业棟」の建替えが完了し、「金具作業棟」と「事務所棟」の整備が残されていた。事務所棟については、平成28年度第2回理事会（平成29年3月9日開催）で、旧東照宮宝物館への移転が承認され、吹付アスベスト分析調査及び劣化度調査を平成29年度に実施。平成30年度に耐震診断及び改修実施設計を実施した。平成31年度に改修工事を行い、令和2年度に事務所を移転した。

今後、金具棟建設に向けて資金の積み立てを行い、見通しがつき次第、旧事務所の解体及び整地を行う計画である。

#### (2) 事業計画

(単位：千円)

	施設名	事業費	内容
平成20年度	漆塗・彩色作業棟	35,700	P造2階建 延べ463.98㎡
平成28年度	木工作业棟	19,980	P造平屋建 延べ178.2㎡
平成29年度	事務所棟(調査)	1,100	アスベスト調査、劣化調査
平成30年度	事務所棟(設計)	12,960	耐震診断、改修実施設計

平成 31 年度	事務所棟(工事)	275,300	改修工事
令和 2 年度	事務所棟(移転)	1,000	雑工事及び引越し費用
未定	金具棟(設計・工事)	203,500	S造2階建一部平屋 延べ356.4㎡
合 計		549,540	

## 2. 「平成の大修理」工事記録の制作（自主事業）

### (1) 目 的

平成 29 年度をもって終了した「日光の建造物修理技術の教材的映像記録」の制作に伴って撮影された映像記録をもとに、「平成の大修理」として各社寺の核心部の建造物の修理工事を行ったことを後世に伝えるため、各社寺の竣工までの過程を修理工事記録として制作する。

### (2) 契約相手方及び履行期限

契約相手方：株式会社 日本電波ニュース社

履 行 期 間：平成 30(2018)年 4 月 1 日から令和 4 (2020)年 3 月 31 日

委 託 料：20,201,400 円（内消費税相当額 1,496,400 円）

### (3) 事業計画

（単位：円）

年 度	事業費（税込み）	内 容
平成 30 年度	6,733,800	輪王寺本堂仮編集版制作
平成 31 年度	0	（二荒山神社本殿仮編集版制作）
令和 2 年度	6,733,800	二荒山神社本殿仮編集版制作
令和 3 年度	6,733,800	東照宮（本殿、拝殿、石の間）完成版制作 二荒山神社・輪王寺完成版制作
計	20,201,400	

### (4) 成果品の扱い

90 分程度の DVD 200 本を作成し、修理工事に携わった関係者及び同種工事関係団体等に配布する。